

駒止湿原 & 宮床湿原山行報告

【山行日】2019年 6月 13(木) 快晴

【集 合】栃木市運動公園 P AM 6:00

【費 用】マイカー2台 : 3,700円

【メンバー】CL: 鈴木、SL大西、安西、嶋田、
関、五月女、田村、福島、福田

【コースタイム】栃木市運動公園 6:00＝

駒止湿原 P8:40/8:55～水無谷地～白樺谷地

～大谷地～白樺谷地～水無谷地～駒止湿

原 P11:30＝南郷スキー場 12:00/12:40＝

宮床湿原 12:55/13:40＝南郷スキー場

13:50/14:20＝栃木市運動公園 17:10



駒止湿原に行きたいと要望があり駒止湿原までの道路を調べると、平成27年9月の豪雨で道路が崩落し通行止めになっていた。ところがネットで調べると昭和村側からの道は、ダートな道だが湿原北側の駐車場まで通行可となっていた。昭和村観光課にTELして確認すると、新鳥居峠手前から



は入れますとの事で駒止湿原山行を計画した。東北道西那須野塩原ICで降り、国道400号線から121号線、289号線を走り道の駅「きらら289」でトイレを済ませる。ここから国道401号線を昭和村に向かい、新鳥居峠の先で右折し狭い林道に入る。すぐにダートな道になるが、ゆっくり走れば問題なく走れる。国道から20分程ダートな道を走ると、駒止湿原北側の駐車スペースに着く。駐車スペースにはトイレは無く、10台位止められそうである。準備を整えたらストレッチを行い、出発する。

駐車地から少し戻り、標識に従って水無谷地から南に向かって進むことになる。ブナの木を抜けると木道になり、水無谷地に入っていく。湿原には幾筋か小川が流れ、水芭蕉の花は終わってしまったが葉が小川に沿ってびっしり茂っていた。

ワタスゲの白い穂が見られるが、以前見た群生からは程遠く少なかった。それでもレンゲツツジの赤い花や、タテヤマリンドウの可愛い花が出迎えてくれ皆さんの顔がほころんだ。ヒオウギアヤメ・コバイケイソウ・ニッコウキスゲ等はまだ葉が出たばかりで、ヤマドリゼンマイの若葉と淡い緑色を競っていた。水無谷地を抜けるとすぐに白樺谷地になり、植生は同じようだがウラジロヨウラクの花が見られる。ここもワタスゲの穂綿は少なく、今年はハズレの年なのかなと諦める。



途中のベンチで休憩し、コーヒーとチーズケーキでおやつタイムをとる。白樺谷地を抜けると開拓農



道に出て、左に農道を200mくらいで大谷地出口になるが、一方通行なのでここからは入れない。開拓農道を1Kmほど歩き、南側の大谷地入口から入る。開拓農道を歩いて行くと南会津町の監視員と会い、「いつから南会津町側からは入れますか？」と聞くと「今年いっぱい道路の改修工事が終わるので、来年からは入れます」と言っていた。

南側の大谷地入口から大谷地に入り、北に向かって湿原を歩いて行く。入口からはヨシ等の

植物が生育する低層湿原で、奥に進むにしたがってワタスゲ等が生育する中層湿原、さらにミズゴ

ケが多くなり高層湿原となるそうだ。そうした湿原の発達段階が一つの谷地の中で見られることから国の天然記念物に指定されている。入口の看板にそう案内があるが、皆さん同じような景色に飽きておしゃべりが弾んでいた。30分程で大谷地を抜け、開拓農道から再び白樺谷地に入る。雲一つない快晴で暖かく、ワタスゲの穂も大きく開きレンゲツツジも往路よりも花数が増えている。

途中のベンチで休憩し、ブドウや菓子を食べながら花を觀賞する。最後に水無谷地を抜



けてブナ林を戻ると駐車スペースに出る。靴を履き替えたらずに車に乗り、往路を戻って南郷スキー場に向かう。南郷スキー場駐車場に車を止め、レストハウスのトイレを借りる。レストハウスは営業し



てないが、監視員がヒメサユリ園地を監視している。レストハウスのベランダで昼食を食べて良いか聞くと、OKと言われガスも使用可との事。

ベランダのベンチを借りてうどんを作り、ヒメサユリを見ながらゆっくり食べられた。

女性達は「トイレを借りられ、ベンチに座ってヒメサユリを見ながら食べられ幸せ」と喜んでいて。

ランチが済んだら車に乗り、スキー場上の宮床湿原に向かう。湿原入口に車を止め、ブナ林の登山道をジグザグ登り少し下ると湿原に出る。

湿原の周囲は遊歩道になっており、反対側から湿原を横断する木道を歩いて戻る。駒止湿原ほど華やかさは無いが、訪れる人が少なく静かな湿原を楽しめる。往路を戻り車まで戻って南郷スキー場に戻るが、途中右側の山の中から熊が出て車の前を横切った。ほんの数メートル前を横切り、もう少し早いと衝突したかもしれない。スキー場の上部で皆さんをおろし、皆さんは上からヒメサユリ

の遊歩道を歩いて降りてくる。我々も車を駐車場に止め、遊歩道を歩いて登り皆さんと合流する。ヒメサユリの花数は多いが、花は小さいように感じたが見事なヒメサユリを無料で見られ大満足。駐車場に戻ったら車に乗り帰路につく。途中、道の駅「きらら289」と道の駅「たじま」に寄り、野菜やお土産を買い予定より早く栃木市運動公園に帰着した。